

地域の概要

大正末期、国道44号線の開通に続き、鉄道根室本線の敷設によって急激に発展したところであり昭和初期の入植者が多い。その後、幾多の変遷を経て平成27年3月末現在では、浜中市街に約130戸約280人、熊牛・浜中東南地区に約60戸約170人、奔幌戸地区に約40戸約100人、貰人地区に約40戸約120人、姉別地区に約120戸350人、合計390戸約1020人が居住している。

産業としては、浜中市街は建設業と運輸業関係の会社と商店があり、熊牛・浜中東南地区、姉別地区の殆どは酪農業、奔幌戸地区及び貰人地区は昆布漁を主とした水産業が中心である。また、町のさけます振興事業の一環である「幌戸ふ化場」の施設が桜公園奥にある。

市街地及びその周辺には、JR駅舎・郵便局・警察官駐在所・消防会館・保育所・農村環境改善センター・町役場支所・スクラム21（スポーツセンター）・パークゴルフ場・給食センター等の公共施設があり、桜公園と中山間活性化施設「MO-TTOかぜて」は、吊り橋「夢・さくら橋」でつながっている。

保護者と地域住民は、開拓以来の愛郷心に燃え学校教育に対する関心と期待は大きく、教育に熱心で協力的である。浜中農村環境改善センターでは各種会合や文化活動が行われており、将来的に生涯学習センターとしての役割を果たしていくよう期待されている。町内会活動や青少年健全育成会等の組織活動も計画的に進められ、地域をあげて健全育成に取り組む体制にある。